

工事現場のイメージアップ

以前、木本正次氏原作「黒部の太陽」の映画を見て、土木の世界に入ったという方々がたくさんおられた。まさにそのとおり土木工事の現場はこの超大作に描かれたように、人間が大自然と対峙し、国の発展のためにはなくてはならない大規模構造物を築造していく魅力にあふれた職業である一方で、その工事現場は過酷で厳しいものであった。一昔前まで「3K（きつい、汚い、危険）職場」と言われ、敬遠されるようなこともあった土木工事の現場だが、最近めっきりそのような話はきかなくなった。そもそも土木工事現場は世間から隔離された世界であり、一般の人々はその中がどうなっているのか分らない。最近、国土交通省が実施した国民を対象にしたアンケート調査では、公共事業の必要性について、「必要」「どちらかと言えば必要」との回答が79%であったのに対して、約80%の人が公共事業に悪い印象をもっているとの結果が明らかになった。理由は「税金の無駄遣い」「談合などの不正がある」ということのように、理由は違えども、昔も今も一般の人々の土木工事に対する印象は必ずしも良いものとはいえないようである。土木工事は国民の生命財産を守り、豊かな生活を支える基盤整備である。その理解を広げるためにさまざまな努力をしている現場も多く、歴史的に世界に名だたる日本の土木技術を次世代に引き継いでいくために、魅力ある現場づくりに努力している例も増えてきた。特集では、土木工事現場における先進事例を全国から報告していただくとともに、これからの現場のあり方について読者の皆さんと考えていきたい。

建設工事現場の イメージアップ事例集 Part 2

国土交通省中部地方整備局出張所所長・建設監督官連絡会

1. はじめに

建設業は3K（きつい・汚い・危険）と言われてきた過去があり、若年労働者の不足と高齢化が蔓延しています。

こうしたイメージを払拭すべく、公共工事の発注者や建設業界は人材の確保・育成のため作業環境の整備をはじめさまざまな取り組みを行ってきました。具体的には「きつい」というイメージに対しては機械化等による作業方法の改善やリラックスできる休息所の設置、「汚い」に対しては工事現場および周辺の清掃活動・現場囲いのデザイン化やフラワーポットの配置、「危険」に対しては安全パトロールの強化・ヒューマンファクターに基づく安全管理の実施等の対策が行われており、各現場においては少なからず成果を上げてきています。

引き続き、3Kを解消する対策についてはさらに工夫を必要としています。

また、変化する社会情勢や国民の公共事業に対する関心の高まりなどから今後の社会資本整備には今まで以上に地域とのコミュニケーションを図り国民の皆様に対し理解を得る努力をしなければなりません。

このような状況下で、発注者および建設業界は

社会資本整備を円滑に進めて行くため、公共事業の必要性や有効性について国民の皆様に訴え、今後も引き続き公共事業促進の理解と協力を得るために、建設工事現場のイメージアップを図る努力が必要となってきました。

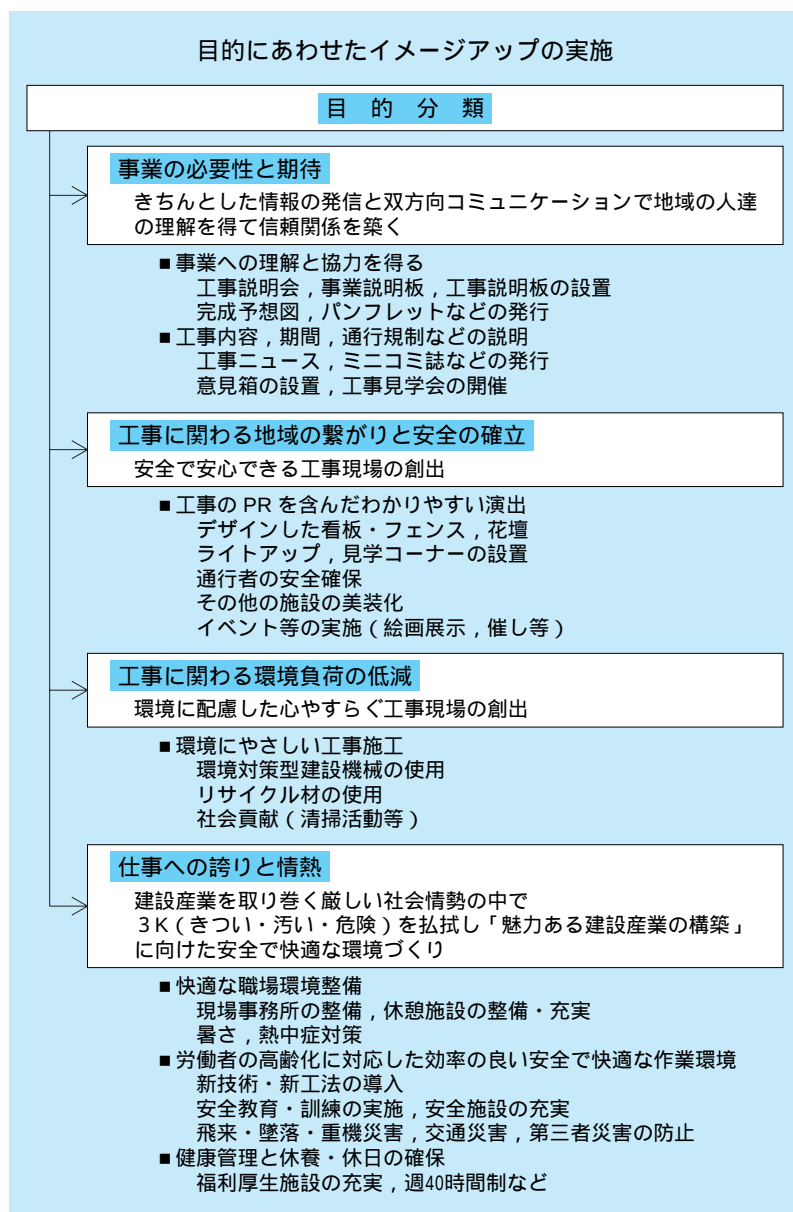
2. 事例集の目的

建設工事現場のイメージアップは、地域との積極的なコミュニケーションを図り、現場で働く関係者の意識を高めるとともに、現場の作業環境を整えることにより、公共事業の円滑な執行に資することを目的として実施されてきました。

中部地整では平成5年に「建設工事イメージアップ事例写真集」（中部地方整備局企画部発行）、平成11年には中部出張所長・建設監督官連絡会の取り組みとして、「建設工事現場のイメージアップ事例集」を発行し現場でも広く普及させることを目的に作成しています。

年々各々の現場で創意工夫がなされ、現場特性、地域特性を考慮し実施されている好例があり、さらなる効果を期待して現場への参考となる「建設工事現場のイメージアップ事例集 Part 2」の作成に取り組むこととしました。

とりまとめにあたって、連絡会の調査研究というの意味から単に既存の事例集の更新ではなく、



「イメージアップの目的分類の見直し」と「事例に対しての考察」を付記することにしました。このことにより、各会員が建設工事現場でのイメージアップ取り組みにあたり、より一層創意工夫されたものへと発展させられることを目的としました。

3. 事例集のとりまとめ

今回の「事例集 Part 2」に関しては、中部地整管内だけでなく、全出連を通じ他地整の優れた事例も積極的に収集し、426事例を収集することができました。

とりまとめにあたっては、類似した事例も多く

あることから100事例に絞ってとりまとめました。

事例集の構成：

① イメージアップの種類

追加特記仕様書の分類により、仮設関係・安全関係・営繕関係に分類

② 地域区分

どこでどのようなイメージアップがなされているかを分類するため、市街地・都市近郊・耕地・山地・その他に分類

③ イメージアップの対象者

対象者によりイメージアップの手法または工夫の違うと考え、一般市民（不特定）・一般市民（地元関係者）・工事関係者・見学者・その他に分類

④ イメージアップの目指した目的、イメージアップの目的を記載

⑤ イメージアップの内容説明

⑥ 実施した内容に対する意見・反響

⑦ 目的分類と考察

○ 目的分類

先（H11年版）事例集では、3K改善が主眼でした。また、追特仕の分類では仮設関係、安全関係、営繕関係、その他となっています。効果的なイメージアップの実施にあたっては、目的・効果を明確にし新たな工夫が不可欠と考え、先の事例集の分類に環境への配慮を加え以下の4項目としました。

「事業の必要性と期待」

「工事に関わる地域の繋がりと安全の確立」

「仕事への誇りと情熱」

「工事に関わる環境負荷の低減」

（別添「目的分類イメージ表」参照）

○考察

アンケート調査票だけでは現場特性、地域特性を十分理解することは不可能であり、良否という評価は困難であることから、「考察」として表現しました。また、わかりやすく、アイデアに満ちていることも重要なポイントであることから明確性、独創性の有無を考察として入れました。

考察については、部会員としての記載であり、他のご意見もあるかと思いますがご理解のほどお願い致します。

4. おわりに

連絡会では、各部会によりテーマを設け検討を行っており、今回の「建設工事現場のイメージアップ事例集 Part 2」の作成につきましては、2カ年をかけ全国の会員の皆様のご協力によりとりまとめることができました。

今後「建設工事現場のイメージアップ事例集 Part 2」の公表につきましては中部地方整備局企画部と調整していきたいと考えていますのでご理解のほどよろしくお願い致します。

最後に、この事例集が現場での参考となり、イメージアップの施策向上につながれば幸いです。

事例集のとりまとめ			
種類		内容	件数
仮設関係	施工のために必要な仮設備のイメージアップ	1 用水・電力等の供給設備	
		2 仮囲い	2
		3 仮歩道マット	
		4 模様フェンス	
		5 その他	2
	イメージアップのために設置する設備	6 工事説明図	25
		10 デザイン工事看板	
		7 フラワーポット	2
		8 見学路および椅子の設置	3
		9 ライトアップ・緑化の実施	2
		11 パンフレット	2
		12 地域行事経費	3
		13 その他	1
安全関係	施工のために必要な仮設備のイメージアップ	14 バリケード	
		15 転落防止柵	
		16 工事標識	1
		17 照明など安全施設イメージ	1
		18 電光式標識	
営繕関係	施工のために必要な仮設備のイメージアップ	19 その他	3
		20 現場事務所	
		21 労働者宿舎	
		22 倉庫および材料保管場所	
		23 監督員詰所	
		24 トイレの水洗化	3
	イメージアップのために設置する設備	25 デザインボックス	
		26 その他	
		27 シャワーの設置	1
		28 現場休憩所	7
		29 ウォータークーラー	
		30 意見箱の設置	2
		31 見学室	4
		32 観葉植物	
		33 健康関連施設	
		34 備品など	
		35 その他	4
その他	追特仕によらないイメージアップのための施策	36 環境対策機械	
		37 リサイクル材	6
		38 社会貢献	10
		39 その他（見学会・イベント）	8
		その他	8

建設工事現場のイメージアップ(1)

1. イメージアップの種類

① 仮設関係 イメージアップのために設置する設備 6) 工事説明図 10) デザイン工事看板

2. 地域区分など

地域区分：山地 事業分野：道路 工事区分：道路改良

3. イメージアップの対象者

① 一般市民（不特定） ③ 工事関係者 ④ 見学者

4. イメージアップの目指した目的

当現場が熊野尾鷲道路建設の本格的な着工にあたるため、当初から多数の見学者の来訪が予想された。そのため、熊野尾鷲道路建設の『事業目的』と『全体ルート』を、漫画を使ってわかりやすく説明したデザイン看板を製作した。看板に、『完成予想図』『地質縦断面図（工事進捗兼用）』『支保パターン図』『トンネルずりの有効利用』等をアピールしたものを掲載した。また、外枠には地域の特産品尾鷲ヒノキを模造したものを使用し、地域と融合しているイメージとした。

5. イメージアップの内容説明

看板内容 ① 熊野尾鷲道路全体図（漫画：見学者の目を引くように） ② 坑口部完成予想図
③ 地質縦断面図（工事進捗兼用） ④ 支保パターン図
⑤ トンネルずりの有効利用（当工事の特徴）



6. 実施した内容に対する意見・反響

来訪した多数の見学者がよく見ており、熊野尾鷲道路と第5トンネル工事の概要がわかりやすく集約されていると、評判が良い。

7. 目的分類と考察

イメージアップの目的		考 察			
事業の必要性と期待	○	広域的な地形図を用いて計画道路をわかりやすく説明している。イラストデザインも信頼性の向上につながる。			
地域の繋がりと安全の確立					
環境負荷の低減					
仕事への誇りと情熱		明確性	○	独創性	

建設工事現場のイメージアップ(2)

1. イメージアップの種類

- ① 仮設関係 イメージアップのために設置する設備 8 見学路および椅子の設置

2. 地域区分など

地域区分：山地 事業分野：砂防 工事区分：砂防堰堤

3. イメージアップの対象者

- ① 一般市民（不特定）

4. イメージアップの目指した目的

砂防堰堤は、平穏な生活を営む住民を、土砂災害から守るために造られる。この上松町も過去には十王沢からの大きな土砂災害の被害に遭っています。そのためこの地域の方々は、砂防堰堤の重要性を良く理解されている。そこで私たちはそれ以上に砂防堰堤の出来上がる様子を、多くの皆さんに見学していただくことを目的として、テラスを設置した。

5. イメージアップの内容説明

設置場所は、林道脇で、テラスの材料に、発生材、間伐材を利用し、テーブルと椅子を配置した。手摺りは、子供にも配慮し4段とし転落防止に配慮している。



6. 実施した内容に対する意見・反響

テラスは上松町市街地より、約1kmの位置にあるため、皆さんの散歩コースの折り返し点となり、暫しの休憩をとり工事の様子を見学されている。

7. 目的分類と考察

イメージアップの目的		考 察			
事業の必要性と期待		工事現場を直接見学していただくことにより、わかりやすい工事説明が図られている。			
地域の繋がりと安全の確立	○				
環境負荷の低減	○				
仕事への誇りと情熱		明確性		独創性	○

建設工事現場のイメージアップ(3)

1. イメージアップの種類

④ その他 「追特仕」によらないイメージアップのための施策 38)社会貢献

2. 地域区分など

地域区分：その他 事業分野：河川 工事区分：築堤・護岸

3. イメージアップの対象者

① 一般市民（不特定） ② 一般市民（地元関係者） ⑤ その他（かわらんべ講座，総合学習）

4. イメージアップの目指した目的

現場に近接している総合学習館「かわらんべ」と「水辺の楽校いいだ」は，かわらんべ講座の受講生や地元住民等に多く利用されている。このため，「水辺の楽校いいだ」に植生している植物・樹木の種類等が一目でわかるようなプレートを「かわらんべ」と相談して作成し，「かわらんべ」の研究員（小学生）と一緒に設置した。

5. イメージアップの内容説明



プレート内容

- ①植物・樹木の名称
- ②植物・樹木の写真
- ③植物・樹木の説明

6. 実施した内容に対する意見・反響

植物の種類等がよくわかると好評を得ている。

7. 目的分類と考察

イメージアップの目的		考 察			
事業の必要性和期待		工事現場付近の公共施設との連携を図りながらイメージアップを実施している。地域の植物・樹木について，小学生と一緒に学習活動を行い，地元との好評を得ている。			
地域の繋がりと安全の確立	○				
環境負荷の低減					
仕事への誇りと情熱		明確性		独創性	○